

今も昔も東伊豆町を支える若い力 県立稲取高等学校創立100周年

大正8年に稲取村立稲取実業補習学校として開校した稲取高等学校は100周年を迎え、11月12日記念式典が執り行われました。その歴史の中で生徒たちは、スポーツの様々な競技で記録を作り、町のイベント等で積極的に協力してきました。これからも町の活力となる生徒たちの活動に注目です。



子どもたちの健やかな成長を願って 七五三お祝い式



町内の幼稚園で七五三のお祝い会が開かれました。園長先生や来賓の方から、なぜ七五三のお祝いがあるのかという行事の説明の後、年中・年少さんからお祝いの演奏やダンスなどをプレゼントされました。長寿の願いを込めた千歳飴をいただいた年長さんは、「かっこいいお兄さんになります。優しいお姉さんになります。」と、凛々しい表情で宣言しました。

5代目ミス雛のつるし飾りは やわらかい笑顔が印象的



12月8日第5回ミス雛のつるし飾りコンテストの最終選考会が行われました。最終審査は、コミュニケーション能力、熱意、自己PR等の5項目で採点され、5代目ミス雛のつるし飾りに高瀬美咲さん(写真中央)、雛娘に飯田友喜さん(写真右)、桃娘に西田亜実里さん(写真左)が選ばれました。これから2年間東伊豆町のPR活動を務めていただきます。

つくのも包むのも自らの手で 幼稚園 もちつき行事



今年も町内の幼稚園で、恒例のもちつき行事が行われました。自分の身長近くある杵を使って、「おいしくなれ！よいしょ！」という掛け声に合わせてついたおもちは、ほっぺたみみたいな柔らかさ。あんこを包んで、おいしさ倍増のおもちが完成しました。

今年も甘くおいしく育ちました いちご狩り



町内いちご狩り園では、12月下旬よりいちご狩りがスタート。オープンに伴い、奈良本区の樋ノ口園は、地元熱川幼稚園児38人を招待しました。招待された園児たちは、たくさんのおいちごで大興奮！口いっぱい頬張りながら、「あまーい！」「おいしい！」と大喜びでした。

約4か月間の厳しい練習に取り組み支え合った“ONE TEAM” 第20回記念しずおか市町対抗駅伝競走大会

11月30日(土)、第20回記念しずおか市町対抗駅伝競走大会が開催され、県内38チーム(市の部：26チーム、町の部：12チーム)が参加。今年も数々のドラマ・名シーンが生まれました。

選手は静岡県庁前をスタートし、草薙陸上競技場までの12区間42.195kmの道のりをたすきでつなぎ、各チームともに力の限りを尽くして走り抜きました。今年の東伊豆町チームは8月末から練習を開始し、約4か月間の厳しい練習に取り組みました。順位は町の部12位でしたが、今大会の経験を次回への飛躍につなげます。



午前10時 県庁前をスタートする全38チーム



選手・関係者の皆さん おつかれさまでした



10区 佐藤選手から11区 藤邊選手へのたすきリレー

率直な意見を堂々と発表 青少年主張発表大会

11月23日(土)、役場1階大会議室において、第35回東伊豆町青少年主張発表大会が開催されました。

町制施行60周年に開催される記念すべき大会となり、特別枠の発表が設けられました。司会や受付等の運営は稲取高校ボランティア部員が協力し、円滑に進行されました。

小・中・高校生からは、日頃から感じていることについての意見や疑問、提言がなされ、町や教育関係者、保護者ら約150人が真剣に耳を傾けていました。



発表者と稲取高校ボランティア部の皆さん

発表者の皆さん

小学生の部

- 犯罪を減らすためにぼくは
- 熱川小学校6年 高羽雄大さん
- あいさつをきっかけにして
- 稲取小学校6年 飯田凜音さん

中学生の部

- 稲取のために私ができること
- 稲取中学校1年 鈴木友菜さん
- 尊重の心・認める心で
- 「いじめ」をなくす
- 熱川中学校3年 稲葉理枝さん
- 東伊豆の子どもの笑顔を守るために
- 稲取中学校3年 井口恋来さん

高校生の部

- 周りを見る大切さ
- 稲取高校1年 山本大翔さん
- これからの東伊豆町について
- 下田高校1年 山田龍道さん

特別発表

- 地域おこし協力隊員
- 本多まゆみさん